【➡よこのカギ】

① 一度使ったものをそのままの形でもう一度使うこと。

③ 報酬を求めず自分の意思で地域や人のために活動すること。清掃活動や災害支援で活躍。

⑥ 一人ひとりが受けもつ務め。SDGs の達成には国・自治体・企業・住民それぞれのこれが必要。

⑧ 燃やさず分けて出せばもう一度使えるごみ。かん・びん・ペットボトル・古紙など。

⑩ 本を読んだり借りたりできる施設。子どもから高齢者までだれもが立ち寄れる地域の居場所。

⑬ 足に不自由がある人が座ったまま移動できる道具。段差のないまちづくりが求められる。

⑮ 玉名市出身のオリンピックマラソン選手。「日本マラソンの父」と称される人物。〇〇四三。

⑰ 玉東町の「年の神水源」では地面から〇〇〇〇がしみだしている。雨が森の土にしみこみ、長い時間をかけて地面から出てくる水のこと。

⑱ 夏の暑い日に庭や道に水をまいて涼しくする昔からの知恵。水が蒸発するときまわりの熱をうばう。

⑳ 食事のメニューを前もって決めておくこと。これを立ててから買い物に行けば食材の買いすぎを防げる。

【⬇たてのカギ】

② 和水町ではタクシーの「〇〇〇〇くん」が通院や買い物などの移動を支えている。同じ車や乗り物に複数の人が一緒に乗ること。

④ 地域の防災活動や避難訓練などで活躍する、防災の知識をもった人。「〇〇〇〇し」

⑤ 住む人がいなくなった家。玉名地域ではこれを活用した移住・定住の取り組みが進んでいる。

⑦ 使い終わったものを資源としてもう一度使えるようにすること。南関町では使用済みの食用油を「〇〇〇〇〇」し、一部をトラックやバスの燃料として活用している。

⑨ 使っていない電化製品の電源を切るとき、抜いておくと節電につながるもの。「〇ん〇〇と」

⑪ 玉東町の小学生が毎年国際交流を行っている地域。親日的な人が多いことでも知られている。「〇〇〇ん」

⑫ 学んで力を身につけること。SDGs の目標 4 は「質の高い〇〇〇〇〇をみんなに」。

⑭ 水をためてお米を育てる田んぼ。カエルやトンボなど多くの生き物のすみかにもなっている。「〇〇〇ん」

⑯ わたしたちのまわりの自然や暮らしをとりまく状況。これを守ることが SDGs の多くの目標につながる。

⑲ 玉名市、玉東町の特産品であるあまい柑橘。地元でとれたものを地元で食べることが、運ぶエネルギーも節約できる。

㉑ 体に必要な栄養素のひとつ。不足すると貧血になりやすく、レバーやほうれん草に多く含まれる。